

地域とともに子どもを見守り、育むはじめの一步

| | | | |
|--|-------------------|-------|---|
| 野洲市 | 活動名：野洲幼稚園地域学校協働本部 | 野洲幼稚園 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和6年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：0人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・「できる人ができる時に…」緩やかに、継続的に活動していけるようにしよう。
- ・園の所在地の自治会との連携から始める。
- ・環境整備、作品展の鑑賞など園に来ていただきやすいことから始める。今までの地域の各サークルとの交流の経緯を踏まえ、そこを窓口にして来ていただくことで、人伝えて広げていくこともひとつの方策ではないか。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・愛園作業への協力
- ・保育活動のサポート…お店ごっこの準備支援やお客さんで参加
- ・園内作品展の鑑賞
- ・食育活動における調理補助



【 ごっこ遊びの品物づくり 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・子どもたちの遊びの中に参加していただき、一緒に遊ぶ中で自然な形で交流がしていけるようにする。
- ・自治会の掲示板に学校運営協議会や園からのお知らせを掲示し、活動への協力依頼や内容を周知する。
- ・コロナ禍前の地域サークルとの連携の復活…気軽に園に来ていただける活動内容を検討。

■ 事業の成果

- ・地域学校協働活動推進員や委員のコーディネートにより、学校と地域を繋ぐ教育活動をスタートすることができた。
- ・まずは、園に来ていただくことを目的に、活動内容を精選し、できることから始めた。地域の方も子どもに親しみをもってかかわってくださり、「たのしかったです」「また来ます。いつでも声をかけてください」と園の活動に興味を持っていただき、子どもも「もっと遊びたかった」「また来てね」と親しみをもってかかわることができた。



【 園内作品展を見に来ていただきました
～5歳児と一緒に鑑賞～ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校運営協議会の意味や活動など地域・保護者・教職員への周知と啓発のあり方を工夫する。
- ・園を身近に感じていただいたり、園児も地域の方に親しみを持てるよう地域と協働したりしながら継続して進めていける内容を検討する。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・準備委員から協議会委員へとなっていたことで、前年度から話し合ってきたことを共有し、スタートすることができた。
- ・今後、協働活動の内容や学区内の他の自治会との連携のあり方、地域の人材発掘などについて検討していきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

園長 教務主任 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(園長)

祇王大好きチャレンジ！ ～祇王を愛する心豊かな子どもを育てる～

| | | | |
|---|--------------------|-------|---|
| 野洲市 | 活動名: 祇王幼稚園地域学校協働本部 | 祇王幼稚園 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度: 令和6年度 地域学校協働活動推進員等数: 1人 ボランティア登録数: 30人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

・子どもの姿や園の課題を話し合い、課題解決に向けた、地域と園が協働して取り組むことができる活動を検討した。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・「にっこりおはなし会」(絵本の読み聞かせ)の開催
地域や保護者の読み聞かせボランティアによるおはなし会(毎月第2木曜日に実施)
- ・避難訓練(2次避難)の見守りと誘導
水害を想定した垂直避難(コミュニティセンターぎおう2階)
大規模地震を想定し、2次避難場所への避難
- ・園児や保護者の活動サポート(いもほり・バルマーク整理作業・保護者研修等の未就園児見守り)
- ・祇王学区老人クラブとの交流 (もちつき・お正月遊び)



【 にっこりおはなし会 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域・保護者等への協力依頼
学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員からの呼びかけにより、各活動のボランティアを募集した。参加者が同じ思いで子どもにかかわることができるように、活動ごとの協力依頼文に趣旨や必要なサポート内容等を記載し、文書は地域学校協働活動推進員が配付した。
- ・活動ごとの打合せと振り返り
活動ごとに地域学校協働活動推進員と園との簡単な打合せを行い、前回の気づきを活かして取り組みを進めた。

■ 事業の成果

- ・毎月1回のおはなし会で、ボランティアの方に自分の好きな絵本を読んでいただく経験を重ねたことで、絵本への興味が高まり、家庭での読み聞かせの機会も増えた。
- ・地域の方とかかわる中で、子どもが、ボランティアの方に自分から話しかけるなど、安心して人とかかわる姿が増えた。
- ・避難訓練の見守りやサポートをとおして、防災について地域と園がともに考えることができた。
- ・それぞれの活動以外にも、七夕の笹や製作遊びの材料を提供して下さったり作品展を見に来て下さったりするなど、地域の方が子どもたちの遊びや生活に心を寄せて来園して下さる機会が増えた。実際に子どもとかかわり、温かい言葉をかけて、一人一人の育ちを支えていただいた。
- ・学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員をとおして、妓王まちづくり協議会や祇王学区民生委員、祇王学区老人クラブ等への協力依頼や活動の相談をし、地域と園のつながりが深められた。



【 いもほり～地域の方と一緒に～ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・園や地域の課題から、地域と協働して取り組める活動を探るとともに、年間活動として見直しをもって取り組む。
- ・地域協働活動推進員との連携をさらに深め、ボランティアメンバーの把握、登録等をすすめる。
- ・学校運営協議会や地域学校協働活動について、保護者や地域住民へ広く周知し「地域ぐるみの子育て」に関心を持ってもらえるよう取組を推進する。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・今年度は、おはなし会を活動の柱として取り組む中で、園児の安全や環境を整備する取組にも広がった。当初は「園から協力を依頼する」という考えがあったが、「協働して取り組む」ことで、園での子どもや職員の様子を地域の方に知っていただくことができた。今後も、子どもの姿を中心に据え、「祇王を愛する心豊かな子ども」を目指した取組を推進していきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

園長 教務主任 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(園長)

いろいろな人とのかかわりの中で子どもの力を育てていく活動

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 野洲市 | 活動名:北野幼稚園地域学校協働本部 | 北野幼稚園 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和6年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:0人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・園の課題と子どもに育てたい力について。
- ・課題解決に向け園がすること、保護者、地域ができる事について。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・中学生による絵本の読み聞かせ
中学生による絵本の読み聞かせのあと園児と中学生が一緒に遊ぶ。
- ・民生委員・児童委員の皆さんによるお楽しみ会
ハンドバルの演奏を聴かせていただいたり、スケッチブックシアターのお話を聞かせていただいたりする。また、ミンジー(民生委員キャラクター)と体操をしたりサンタクロースからプレゼントをいただいたりする。
- ・保護者音楽サークルによる音楽会
いろいろな楽器を使いながら、「とんでったバナナ」や「ブレーメンの音楽隊」などの音楽劇を見せていただく。
- ・保護者研修会時の託児
民生委員・児童委員に未就園児の託児をしていただく。
- ・保護者絵本サークルによる絵本の読み聞かせ
各クラスの降園時間前に絵本を読んでいただく。



【 中学生による絵本読み聞かせ 】

■ 実施に当たっての工夫

活動していただく方も園児も互いに楽しめるように、そしてその中で子どもたちに付けたい力が身についていくように伝えている。

■ 事業の成果

- ・地域のいろいろな人とのかかわりの中で、温かさを感じたり、人と関わることの楽しさや喜び、安心感を感じることができた。
- ・人とのかかわりの中で、安心して自己表出する姿が見られるようになってきた。
- ・未就園児の託児では、保護者が安心して研修会に参加することができた。



【 民生委員によるお楽しみ会 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・持続可能な活動となるように、無理のない範囲で活動していただく。
- ・園に来ていただくだけでなく、園児が地域に出向き地域の方と交流できるような活動についても検討していきたい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

活動をとおして保護者や地域の方に園の様子や園児の姿を見ていただく機会が増えている。実際に見ていただきながら、保育の中で大事にしたいことを分かりやすく伝えていきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

園長 教務主任 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(園長)

「中主大好きプロジェクト」～つながり中主・ぬくもり中主・はぐくみ中主～★

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 野洲市 | 活動名：中主小学校地域学校協働本部 | 中主小学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和2年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：100人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- (1) 学校運営上の課題・・・教職員の業務負担軽減
- (2) 学校と地域の課題・・・安全な登下校の確立、児童や家庭教育支援、学力力向上

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- (1) 学習活動支援
 - ・生活科や社会科、総合的な学習の時間の学習支援(中主のすてき発見、福祉学習や夢の種まき学習ゲスト等)
 - ・環境学習支援(魚のゆりかご水田学習、ヨシの苗植え、田植え稲刈り体験学習支援等)
 - ・学習補充支援(算数のびっこタイム)
 - ・読み語りボランティアによる本の読み聞かせ
- (2) 登下校や休み時間等の見守り支援・寄り添い活動
 - ・中主っ子見守り隊による登下校時の見守り活動
 - ・家庭教育支援員による不登校傾向児童の登校支援や、授業中・休み時間等の見守り
 - ・月1回チュウズデー(小中合同あいさつ運動)の実施、愛の声かけ運動
- (3) 学校行事支援(運動会支援等)
- (4) 環境整備支援
 - ・PTA・地域・学校によるグラウンドの除草作業
 - ・PTA有志による校内清掃活動
 - ・読書ボランティアによる読書環境づくり(図書室の掲示物、本の整理や修繕支援等)
- (5) 地域行事への参加(中主子ども食堂、12月チュウピーフェア、おすそわけ会)
- (6) 地域への発信・啓発
 - ・「おいでやす中主小フェア(新校舎のお披露目会)」
 - ・「あいさつ隊」



【ヨシ苗の定植(琵琶湖岸にて)】



【おいでやす中主小フェア】

■ 実施に当たっての工夫

- (1) 地域・保護者等の教育活動への協力依頼発信
 - 「気軽に無理なく参加協力」をめざし、地域学校協働活動推進員が、活動ごとに協力依頼文を配付
- (2) 事前事後の「かんたん打合せ」の実施
 - 事前の「支援の趣旨・配慮事項の確認」、事後の「次回に生かす『ふりかえり』」

■ 事業の成果

- ・地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、学校と地域をつなぐ「より値打ちのある教育活動」を展開することができた。
- ・家庭教育支援員等、地域の方の登下校見守り支援により、不登校傾向児童の登校意欲向上、家庭背景を背負った児童や家庭の癒しと安定につながった。
- ・学校・家庭・地域や関係機関が一体となり、学校行事等を進めることができた。学校だけではできないことに快くご協力いただき、教職員の業務負担軽減につながった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域学校協働活動推進員と地域連携担当教員が連携し、年間活動の見通しやボランティアメンバーの把握・整理をする。
- ・積極的な地域発信をし、地域学校協働活動への理解者と新規ボランティア加入を増やす。
- ・地域ぐるみで子育てをする雰囲気高めるとともに、地域の方々への感謝の気持ちをもち表現できる児童や郷土愛の育成を図り、「子どもも大人も中主大好き」と実感できる地域づくりをめざす。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会を毎月定例化して実施。地域と学校でどのような子どもを育てていくのかを話し合い、目標とビジョンを共有し、そのためにできることを具体的に考え、子どもを育てる当事者としてPDCAを進める主体的組織となっている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

『篠原らしい』～地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり～

| | | |
|---|-------------------|---|
| 野洲市 | 活動名：篠原小学校地域学校協働本部 | 篠原小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：作成中 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・自治会とPTAとの接点の少なさについて
- ・PTA組織がなくなる中で、保護者との新たなつながり作り
- ・ロング昼休みを利用した、新しい地域学校協働活動の企画について
- ・子どもたちを中心にして地域とできることについて



【しのっこサロン】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)学校の地域研修

4月 地域の方の案内・説明による全校遠足の下見 兼 教職員の地域学習

(2)子どもまんなか活動「学校でおしゃべり会」

7月 民生委員・児童委員とこども園、学校教職員で、子どもの育ちについて一緒に目指したいことについて話し合い

10月 保護者と学校・地域で、子育てのこと、学校での子どもの様子、地域で何ができるかについて話し合い

(3)地域の文化祭と連携した音楽会

コミセンしのはら「トトレレ&文化祭」と連携して、こども園とともに音楽会を開催した。

(4)読書活動推進活動

・図書室の環境整備

・朝の読み聞かせと、ロング昼休みの時間を利用してテーマをもった「しのっこサロン」を開催した。読み聞かせやゲームを通して子どもたちがワクワクする体験や、文字に関心をもてるような活動に取り組んだ。

■ 実施に当たったの工夫

- ・学校の教職員は地域の方と話す機会がほとんどないため、「おしゃべり会」を設けた。特に地域担当別に教員と民生委員が話せるようにグループ分けを行い、人と人のつながりづくりに力を入れた。

■ 事業の成果

- ・「おしゃべり会」では、直接顔を合わせて話すことで、地域、保護者、こども園の思いを知り、つながりを深めることができた。
- ・地域行事との連携開催については、昨年度の内容を見直したことで、お互い無理のない範囲で協働することができた。地域とともにある学校として、地域の方と交流ができた。



【おしゃべり会の様子】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・PTA組織の形が変容していくなかで、保護者との新たなつながりづくりが課題である。人材発掘のため、学校に人が集まる仕組みを作っていく。その際、既存の地域の団体の活動場所を学校内に誘致するなど、工夫して進めていく。
- ・子どもをまんなかにしたコミュニティにしていくため、子どもたちとの「おしゃべり会」を開催し、子どもの思い、考えを交流する場をつくっていく。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

本校の活動について(学校HP) <https://www.city.yasu.lg.jp/school/shinohara/>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(地域連携担当教職員)

「祇王大好きプロジェクト」を地域と共に推進～地域の力を学校に、学校の元気を地域に～

| | | | |
|--|-------------------|-------|--|
| 野洲市 | 活動名:祇王小学校地域学校協働本部 | 祇王小学校 | 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:令和5年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:70人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- (1) 学校と地域の課題・敷居の低い顔の見える地域・学校・保護者の関係づくり
- (2) 学校運営上の課題・教職員の負担軽減

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- (1) 学習活動支援
 - ・生活科や社会科、総合的な学習の時間等の学習支援(校区探検、お仕事調べ、ミシンボランティア、田植え稲刈り体験学習支援、カメラ体験プロジェクト、九九マスター支援等)
 - ・図書ボランティアによる、学校図書館の整備とお話会の実施
 - ・「ひまわりプロジェクト」など児童発信の活動における、地域と保護者の支援と協働
- (2) 登下校や休み時間の見守り(ひまわり隊)支援
 - ・家庭教育支援員による不登校傾向児童の登校支援や、授業中・休み時間等の見守り
 - ・毎週木曜日のひまわり隊による休み時間の見守りの実施
- (3) 学校行事支援(運動会支援等)
- (4) 環境整備支援
 - ・定期的な校内の除草作業&樹木の伐採等
 - ・PTA&地域&学校による夏の奉仕作業
 - ・図書ボランティアによる読書環境づくり(掲示物、本の整頓や修繕支援等)



【 ひまわりプロジェクト 】

■ 実施に当たっての工夫

- (1) 地域・保護者等に向けた教育活動への協力依頼発信
顔の見える関係をめざし、活動ごとに、地域学校協働活動推進員からの女王まちづくり協議会への参加協力要請と同時に学校からの保護者への参加協力の呼びかけを行い地域だけでなく保護者も一緒に学習支援ができるようにした。
- (2) ひまわりルームの設置・活用
地域の方にいつでも来ていただける部屋「ひまわりルーム」を設置。もともとは「相談室兼 PTA 活動室」であった部屋を地域の方にいつでも来ていただける場所として位置づけ、CS についてや、地域学校協働活動、学校行事の様子などについて交流できる部屋にした。
- (3) 事後の交流時間の設定
ひまわりルームを活用して、できるだけ、事業ごとに「今日の子どもの様子」について交流する時間をとるようにしている。
- (4) 安心安全への配慮
協力者の事故やけが等が発生した場合のボランティア保険加入



【 ひまわりルーム 】

■ 事業の成果

- ・地域だけでなく、保護者にも参加協力の呼びかけをすることで、地域の方がどのように児童とかかわっていただいているかを保護者の方に知ってもらうことができました。
- ・家庭教育支援員等、地域の方の登下校見守り支援により、不登校傾向児童の登校意欲向上と家庭背景を背負った児童や家庭の癒やしや安定に繋がった。
- ・学校、家庭、地域や関係機関が一体となり、学校行事等を進めることができました。
- ・学校だけではできないことに快くご協力いただき、教職員の負担軽減に繋がった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・応援団制度から学校運営協議会制度への無理のない移行を進めている途中である。
- ・地域学校協働活動推進員と地域連携担当教員が連携し、年間の見通しやボランティアメンバーの把握・整理をさらに進めたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(学校運営協議会 PTA)

報告書記入者(教頭)

『やさしく、かしこく、たくましい三上っ子』を育てよう ～学校も地域もいきいきと元気に～

| | | | |
|---|------------------|-------|---|
| 野州市 | 活動名：三上小学校域学校協働本部 | 三上小学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成25年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数: 個人登録30人、スクールガード登録180人、同窓会役員7人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・校長が作成した学校教育目標・めざす子ども像について、委員から出てくる地域の実情・意見も踏まえて熟議、決定承認した。
- ・目標達成に向けて、子ども・教職員・保護者・地域が各々するべきことについて熟議、協働で具体的な取組方法を考えた。
- ・「三上小学校応援団」を解散し、機動性・実効性のある新たなサポーター組織について熟議、「みかみっこ未来団」として新結成。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1) 学校運営協議会と教職員が協働実施校内研究会『三上のよさを発掘!』

6月12日、郷土(地域)の自然・文化・歴史・人材等を生かした特色ある教育活動・体験活動等のカリキュラムの整備に向けて、CS と学校で合同校内研究会を実施した。「三上っ子のよさ」、「三上学区のよさ」について、意見を出し合い共通認識を深め、「悠紀斎田」「御上神社」等に対する地域の熱い思いを知った。最後に CS 委員と教職員で「三上の歴史や文化を誇れる子どもを育てて行こう!」という思いが一致した合同校内研究会となった。

(2) 「天保義民祭」「天保義民フィールドワーク」『土川平兵衛の生き方に学ぶ』

毎年10月15日に実施される「天保義民祭」に地域とともに6年生児童25名全員が一人ひとり献花、出席したことで地域の「天保義民」に対する思いを実感することができた。

10月17日には、「天保義民土川平兵衛顕彰会」会長をゲストティーチャーとして迎え、土川平兵衛ゆかりの地を巡りながら学びをすすめることで『天保義民土川平兵衛』の生き方から自分自身の生き方について深く考えることができた。

最後に CS 委員と教職員で「三上の歴史や文化を誇れる子どもを育てて行こう!」という思いが一致した合同校内研究会となった。



【 CS と教職員協働で『三上のよさを発掘!』 】

(3) その他の協働した活動

- 三上山登山の見守り(3年～6年) ○ひょうたんづくりや稲作体験(4年5年)
- 愛校清掃活動(全校) ○運動会準備・後始末(全校) ○ずいき祭り(3年)
- マラソン大会(全校) ○125周年記念式典(全校) ○左義長体験(全校)
- 図書館ボランティア(全校年間)
- 登校支援(家庭教育支援員連携) など

■ 実施に当たっての工夫

- ・三上小「めざす子ども像」を協働活動してくださる皆様へ事前に丁寧に説明した。
- ・教職員が協力依頼をすることが多かったが、今年は意識して推進員に任せた。



【 「天保義民フィールドワーク」土川平兵衛に学ぶ 】

■ 事業の成果

- ・学校と地域が「三上のよさ」についてともに考える取組で距離感が相当縮まった。
- ・地域と子どもが協働することで、「三上っ子のよさ」が深く理解され広まった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・三上学区の課題(高齢化等)について、子どもが考えたり、地域(自治会)と PTA が協働して活動したりする取組を実施予定。
- ・地域学校協働活動推進員がさらに主体的に活動できるよう、学校内に地域学校協働活動推進室(部屋)を設置予定。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- ・協働①『三上のよさ発掘! - 学校運営協議会と教職員合同研究会 - 』については、次年度内容を発展させて継続実施予定。
- ・協働②『学校運営協議会と新たな PTA 組織との協働』を推進するため、令和7年度新 PTA 会長を委員として委嘱予定。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(家庭教育支援員)

報告書記入者(校長)

明日もまた来なくなる学校へ！ ～地域と学校の協働をめざして～

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 野州市 | 活動名：野州小学校地域学校協働本部 | 野州小学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：56人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(学校応援団役員会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・野州小学校の児童に育てたい力について。(地域としてできること)
- ・学校と地域の「協働」について ・地域を知る取組について
- ・不登校・行き渋り傾向の児童への支援について ・学校環境について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・朝の読み聞かせ：朝学習の時間に各クラスへ赴き絵本の読み聞かせを実施
- ・図書美化活動：図書室の整備、図書の整理・修理・蔵書管理等を実施、委員会活動補助
- ・学校環境整備：落ち葉清掃、草刈り、給食エプロン修理
- ・授業応援(例)：5・6年生家庭科授業指導補助、4年生江州音頭指導支援
3年生昔のくらし学習支援、2年生栽培活動応援
2・3年生町探検支援、4年生防災学習支援
各学年校外学習応援



【 3年生 昔のくらし 学習支援 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・学校からの依頼に応じてコーディネーターが支援ごとに参加サポーターを調整決定し、学校と打合せ等を丁寧に行っている。
- ・取組内容について【応援団通信】を作成し配付するとともに、HPに掲載。
- ・役員会・総会など学校応援団の組織として活動。

■ 事業の成果

- ・児童にとって：地域の力が学校に入ることにより、より地域に根ざした豊かな学習効果を得られた。
- ・教員にとって：支援が必要な児童への支援が充実し、安全に教育活動を行えた。
- ・地域住民にとって：学校や地域の子どもたちが身近に感じられ、学校での教育活動に積極的にかかわることができた。
- ☆学校評価保護者アンケート「学校・地域・家庭がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携した教育がすすめられていると思いますか」肯定的意見…76%



【 4年生 江州音頭 指導支援 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・引き続き「できる時にできる範囲で」温かい支援をモットーに取り組む。
- ・やすっこにつけたい力を明確にしながら、支援しすぎない支援について検討する。
- ・「応援団通信」や「学校だより」、学校HP等で、事業についてさらに発信する。
- ☆学校評価保護者アンケート「学校・地域・家庭がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携した教育がすすめられていると思いますか」「わからない」…21%

■ その他(学校運営協議会との協働等)

地域と学校でどのような子どもを育てていくのか、具体的な話し合いを深め、目標とビジョンを共有し、子どもを育てる当事者として主体的組織づくりを行っていく。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他()

報告書記入者(教頭)

コミュニティ・スクール 2年目 子どもの視点を広げる学校づくりへ

| | | |
|---|-------------------|---|
| 野州市 | 活動名：北野小学校地域学校協働本部 | 北野小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：109人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[学校応援団フェスタ、夏休みルーム、学校図書館の椅子再生体験] | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・学校運営協議会並びに地域学校協働活動等をいかに地域へ周知するか。
- ・コミュニティ・スクール、地域学校協働活動などを通じたよりよい学校、地域づくりへのあり方とはなにか。
- ・地域(企業)と学校の連携活動の具現化について。
- ・スクール・アイデンティティの醸成と、既存の学校キャラクターマスコット「キッター」の活用について。

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ◎ボランティアが依頼を受けて活動するもの
- ① 学習支援(家庭科、校区探検協力、生活科：各種栽培等補助、調理実習協力 等)
 - ② 読み聞かせ(全クラス2回/年、10分/回、昼休み後)
 - ③ 環境整備(除草活動、学級園(畑)整備、植栽整備)
 - ④ その他(給食エプロン修繕、活け花、賞状筆耕、講師手配)
- ◎地域学校協働活動として自発的に活動するもの
- ① 「図書館プロジェクト」(恒常的な学校図書館の環境整備活動)
 - ② 「親子でチャレンジ！椅子再生体験」(学校図書館の環境整備に親子で参画)
 - ③ 「見守り活動」(登校時)
 - ④ 「学校応援団フェスタ」(地学協の各種活動の周知、児童及び卒業生の参画)



【サツマイモの苗植えをいっしょに】

■ 実施に当たっての工夫

- ◎授業支援に関して
- ・依頼に際し各授業のめあてを聞き取り、伝えることで、ボランティアの目的意識を醸成した。教員の思いをしっかりと聞くことが、ずれのない支援につながる。
 - ・授業支援後はボランティアの意見等を集約し、逐次報告を担当教員に届けた。結果、継続支援が必要な授業において、回を重ねるごとに授業改善が図られた。
- ◎自発的活動に関して
- ・「教育活動や児童に有益であること」を念頭に計画し、学校の理解と協力を得るプロセスを急がない。
 - ・活動のめあてや振り返り等は、協力してもらったボランティアにも還元し、達成感を持ってもらえるようにしている。
 - ・「図書館プロジェクト」では、推進員が県の図書館ボランティア養成講座等を受講し、学校図書館の現状理解や、学校図書館に求められる資質の獲得に取り組んだ。
- また、ボランティアにも知見を伝達し、活動の質の向上に寄与した。



【学校応援団フェスタの様子】

■ 事業の成果

- ・学校の環境整備、授業支援について、地域学校協働活動/地域学校協働本部は不可欠なものとなっている。

■ 実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・事業への保護者の認知度や参画のあり方について検討していく必要がある。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

◎CSIにおける地域学校連携

- ・運営協議会委員である企業との連携により、3年生(総合的な学習の時間)・4年生(理科)・6年生(理科)において初めて、授業を合同で計画・実践した。教職員と企業との綿密な打合せにより、効果的な授業が展開できたが、「企業×学校」とどまっていたことが課題。今後は地域や保護者等とも複合的に関係性を築けるような工夫が必要であるとみている。
- ・将来的に学運協として漢字検定に取り組むことを念頭に、今年度は校内を会場として試行的に実施した。対象は高学年のみとなるが今後、受験者についても保護者、地域の高齢者まで拡大させ、「地域行事」として定着させたい。
- ・学区内に県立高等専門学校が創設される機運の高まりとともに、地域(企業)とともに歩む本校の方向性が見え始めた。特に今年度は学校単独ではできない先進的な授業により、児童にコミュニティ・スクールの利点を還元できたと考えている。
- ・企業間連携についてはモデル校として、さらに工夫を凝らしたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(教職員)

報告書記入者(校長)

「地域とつながる中主っ子」

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 野州市 | 活動名：中主中学校地域学校協働本部 | 中主中学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：20人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[あいさつ運動] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

・合同あいさつ運動 ・チュッピークッキーづくり ・チュッピーフェア ・昼休み見守り活動 ・防災活動

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1)学習支援

- ・放課後こつこつ教室への学習支援
- ・総合的な学習「このまち大好きプロジェクト」の講師
- ・届けようチュッピーカップケーキづくり、年賀状づくり

(2)読書活動

- ・昼休みの図書室の運営、見守り ・図書室の環境整備 ・幼稚園への読み聞かせ活動

(3)子どもの見守り

- ・昼休みの見守り、生徒とのふれあい

(4)環境整備

- ・夏季休業中の除草活動 ・校内の樹木の剪定 ・アーモンド植樹
- ・「キラキラ中主タウン」自治会との連携行事 ・長期休業中の地域貢献活動

(5)地域行事

- ・中主学区チュッピーフェア ・中主小フェア ・共同募金活動



【 届けよう！チュッピーカップケーキ 】



■ 実施に当たっての工夫

- ・地域とチュッピーコミュニティサークル(ボランティアサークル)の生徒との連携を大切にしました。
- ・地域の方に学校に来ていただいたり、生徒が地域の行事へ積極的に参加したりして、そこでのつながりを大切にしました。

■ 事業の成果

チュッピーコミュニティサークル(ボランティアサークル)を中心に、地域の支えもあり生徒の自主的な活動として取り組むことができた。その中で地域の方とのふれあいや、温かい声掛けにより、生徒の笑顔が増えた。また、地域の方からも、生徒との関わりや活躍を喜んでいただいている様子や感謝の声もいただくことができた。地域とともに子どもを育てようとする雰囲気が高まった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・生徒自ら地域の一員であるということを感じ、自分の住む地域との関係性を見つめ直し、将来を担う生徒の自発的な活動に発展させることを大切にする。
- ・今後、防災活動訓練などを学校だけではなく、地域とともに取り組めるよう検討する。
- ・年間計画の中で、地域と関連付けた教育活動をすすめ、全校生徒や教師が参画しやすい取組をすすめる。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

中主学区マスコットキャラクター「チュッピー」にちなんで、月1回「チュッピーの会(地域学校協働活動会議)」として、学校運営協議会委員の方を中心に、協働活動の進め方や具体的な取組について検討している。



【 チュッピーフェア
子どもたちのために つながろう みんなで支え合い助け合う地域を目指して 】

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(教務主任・事務職員)

報告書記入者(教頭)

学校と地域で子どもを育てる体制のさらなる充実をめざして

| | | | |
|---|-------------------|-------|---|
| 野洲市 | 活動名:野洲中学校地域学校協働本部 | 野洲中学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| <p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:令和3年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:26人 <input checked="" type="checkbox"/>学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/>学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/>部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/>学びによるまちづくり <input type="checkbox"/>地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/>地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/>ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/>郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/>その他[地域や保護者とともに学ぶ人権学習]</p> | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他(学区人権教育推進協議会)

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

学校運営上の課題、地域学校協働活動年間計画、学校評価、推進体制づくり、めざす子どもの姿の共有、地域と学校でできること(やってみたいこと)、課題と今後の取組等

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・絵本の読み聞かせ・・・中学生が校区のこども園に行き、園児に絵本の読み聞かせや遊びを通じてつながりをつくる。

・三上山登山

校区のシンボルである近江富士(三上山)への登山を行い、郷土を知り、ふるさと野洲を愛する気持ちを醸成する。三上学区青少年育成会議の後援を受けて実施。多くのサポーターとともに三上山を登り、下山後は、豚汁をご賞味させていただく。

・ひまわりプロジェクト

市内企業である村田製作所が実施しているひまわりプロジェクトに参加し、校区内のさくらばさまこども園の園児とひまわりの種まき、栽培、種の収穫を行い、工場への納品をととして社会認識力を高める。



【 絵本読み聞かせ活動 】

■ 実施に当たっての工夫

・図書館ボランティアの方より読み聞かせのノウハウ等を教えていただく講習会を実施した。絵本の読み聞かせ以外に園児の遊ぶ手遊びや活動についても考えた。

・三上山登山では、冬山での登山でもあり、青少年育成会議のメンバーや学区内の駐在所の警察官もスタッフとして参加してもらい、安全面の徹底を図った。



【 ひまわりプロジェクト 】

■ 事業の成果

・読み聞かせでは、回数を重ねるたびに単なる絵本の読み聞かせだけに終わるのではなく、楽しく会話ができ、交流する姿が見られるようになった。地域のお姉さん、お兄さんとして園児と接する姿が見られた。学校を離れた地域のつながりを大切にしたい。

・ひまわりプロジェクトでは、事業所へバスに乗って納品するなど、社会を身近に感じる内容となった。また園児とのかかわりの中で、やりがいや達成感を感じる場面が見られた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

それぞれの事業は、地域コーディネーターの尽力により計画・実施されており、個人の力量に頼る部分が多い。活動によっては、過度な負担となる場面も見られ、複数のコーディネーターの配置や、地域学校協働活動(本部)の組織的な運営などの工夫が必要である。また、地域学校協働活動の「目的」を明確にする必要がある。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

コミュニティ・スクールとして学校運営協議会を設置して2年目となり、地域とともにある学校づくりについて協議は重ねているが、地域人材の発掘や活用に苦慮する現状がある。本市では、公民館が設置されていない中で、人材育成、地域づくりを進めていくセクションが明確でなく、学校頼み、個人の力量に依存している状況がある。地域で子どもを育てる機運づくりと合わせて、地域への働きかけをどのセクションが進めていくのかを明確にする課題が大きく存在している。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(各活動に関わる担当教員)

報告書記入者(校長・教頭)

地域総がかりとなって、子どもを育み「魅力ある学校づくり」の実現に向けて

| | | | |
|--|--------------------|--------|---|
| 野洲市 | 活動名：野洲北中学校地域学校協働本部 | 野洲北中学校 | 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：0人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[] | | | |

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・部活動の地域移行の実現にむけて
- ・防災教育の推進と地域人材の参画について
- ・生徒の地域イベントへの積極的な参画にあたっての仕掛けづくりについて
- ・「魅力ある学校づくり」への具体的な方策について
- ・教職員のCSの意識向上と働き方改革について

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- ・校地内の大規模な除草作業
- ・中学生ボランティアとして学区民運動会、自治会の夏祭りへの参画
- ・自治会主催の防災訓練や清掃活動への参加
- ・社会福祉協議会と連携した見守り・支え合いネットワークへの参加
- ・幼稚園での絵本の読み聞かせ活動



【 学区民運動会への参画 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・年度当初に自治会長会に出席し、CSの目的や今後の流れについて説明
- ・各地区の地区長(生徒)が各自治会長へあいさつ(顔つなぎ)

■ 事業の成果

- ・生徒は地域活動にも積極的に参加し成就感や達成感を味わい、地域住民からも笑顔が見られ、「中学生観」が変わったと大変好評であった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・自治会によって地域学校協働活動の認知に差があるが、昨年度よりも生徒の力を活用していただける自治会が増え、生徒が地域で活躍できる場が与えられた。
- ・学区によっては既存の協議会等の組織があり、地域学校協働活動との兼ね合いでコーディネーターが苦勞されることがある。
- ・地域とともにある学校を目指すためには、地域住民が学校に来校いただく機会を設ける必要がある。
- ・教員はCS事業について認識不足が否めない。将来的には、教職員の働き方改革につながる活動にしていきたい。



【 見守り・支え合いネットワーク「みんなち」 】

■ その他(学校運営協議会との協働等)

昨年度からスタートしたコミュニティ・スクールであるが、地域とともにある学校づくりについて協議を重ねている。地域学校協働活動もコーディネーターが中心となって取組を進めているが、中学校は複数の小学校区があることから、それぞれの学区間の調整が今後の課題であると考えている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(各担当教員)

報告書記入者(校長)